

鹿児島市・熊本市・福岡市 交流連携協定1周年 訪ねてみませんか。熊本市・福岡市

火の国まつり

熊本市

熊本の夏の風物詩、第32回「火の国まつり」が8月7日(金)・8日(土)に開催されます。7日(金)は、熊本城二の丸広場でオープニングイベントや花火大会があり、熊本城を打ち上げ花火が照らします。8日(土)には、「おもてやん総おどり」があり、熊本の代表的な民謡「おもてやん」や軽快なリズムの「サンバおもてやん」に合わせて、約5000人の踊り手が趣向を凝らした扮装で市内中心部を踊り歩きます。



◇詳しくは熊本市コールセンター「ひごまるコール」096-334-1500へ



アジア太平洋フェスティバル福岡2009

福岡市

今年で20回目を迎え、規模・内容を拡充して開催。アジア太平洋地域の伝統芸能や食欲そそる屋台など魅力満載です！ぜひアジア太平洋の世界へお越しください。◇日時 9月18日(金)～20日(日)11時～20時(予定) ※入場無料 ◇場所 マリンメッセ福岡(福岡市博多区沖浜町7-1) 釜山サムルノリ芸術団



◇詳しくはアジアマンス委員会事務局092-733-5933へ(http://www.asianmonth.com/)

暮らしに役立つ生活・イベント情報満載 これからのテレビ・ラジオ市政広報番組ガイド

KYT 8月16日(日) 7時30分～8時
「美しい夜のカゴシマを楽しもう」
KYTキャラクター山本さんと松永友美アナウンサーがさまざまな現場に直行。市政に関するみんなの疑問を解決します。

KKB 毎週金曜日 18時55分～19時
「夏休み親子おでかけ情報」ほか
子育て世代に向けた情報を毎週お届け。親子で楽しめるイベントや育児情報を中西可奈&梶尾みどりアナウンサーが元気いっぱいにお伝えします。

MBC 8月23日(日) 10時30分～11時
「集まれ!かごしま水族館キッズモニター」
鹿児島市の旬の話題や歴史をじっくり紹介。テレビ・ラジオでおなじみのリポーターが、市民目線で面白く分かりやすくお伝えします。

KTS 9月6日(日) 9時～9時30分
「9月9日は救急の日救命の連鎖・救命リレー」
ニュースでおなじみ下松小百合アナウンサーの体当たり!?リポートは必見。Goodタイムリーな情報満載の番組。

MBCラジオ(1107kHz) ■市政スポット 毎週日曜日16時55分～17時
エフエムかごしま(79.8MHz) ■鹿児島市からのお知らせ 毎週月曜日10時15分ごろ

鹿児島市エフエム(76.2MHz) ■かごしまドリーム 8月22日(土)17時30分～18時
■フレッシュライブ鹿児島 毎週月曜日7時55分～8時
■ピックアップ市民のひろば 毎週水曜日11時50分ごろ

まちづくりをみんなで取り組んでいくために



「第11回策定ワーキンググループ」
より多くの地域の人の考えを聞くためのアンケートの実施などの活動を行っています。さらに情報発信を行い地域の人が参加できる場を広げ、まちづくりを進めていくための人づくりを行っています。

住民主体のまちづくりが広がっています
鹿児島市では、今年度、「まちづくりガイドライン」策定のワーキンググループを定員定数まで実施し、まちづくりを推進するためのさまざまな視点を加えた検討が始まりました。また、具体的なまちづくりの活動を検討する分科会では、重点施策の実現に向けた話し合い

今年度の取り組み みんなでまちづくりを進めるために

今年度、ワークショップでは「空き地・空き店舗対策」、「テーマ別のマップ作成」、「さるっきんぐ」、「景観づくり」、「上町サミット・情報発信」の5つを重点的に取り組んでいます。今後も、自分たちが立てた計画が、「絵に描いた餅」にならないように、自分たちが行う活動を点検し、その結果に基づいて必要な対策を行うなど、定期的な見直しを行うこととしています。



みんなが楽しめるまちにしたい
○東京から鹿児島にUターンしてきて、東京で学んだことを生かしてまちづくりをしたいと活動していたときに、ワークショップが立ち上がるのを聞き、参加しました。
○行政がまちづくりの計画を示すこれまでの形と違い、自分たちで考え、行動して作り上げていくという進め方は新鮮でした。
○まちづくりの方向性を決め、テーマごとに取り組むを進めていますが、「住んでいる人たちが楽しめるまちにする」ということを考えています。
○ハードとソフトの両面からまちづくりを進める中で、古いものと新しいものが共存する心地良いまちにするために、地域の人たちと協力しながらみんなで取り組んでいきたいですね。

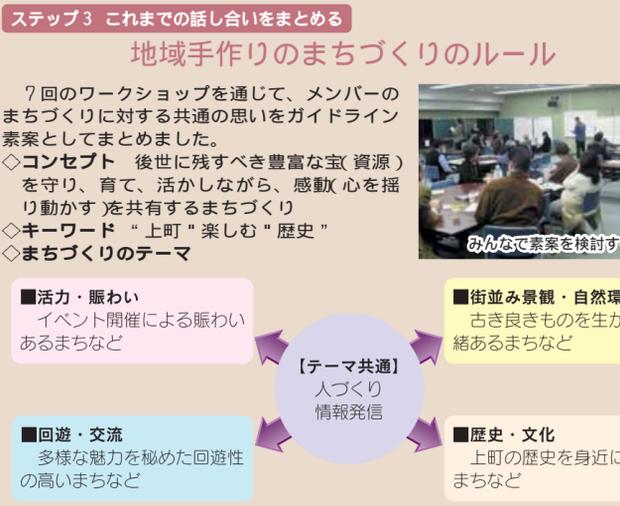
「探す」「見つける」「考える」 住民みんなで「活動する」まちづくり

本市のまちづくりの考え方
本市では「かごしま都市マスタープラン」を策定し、本市の都市づくりの基本的な方針を定めています。
この中で「市民とともに手を携えてつくる都市づくり」を基本理念に掲げており、それを踏まえたまちづくりにはその主役である地域住民が自分たちのまちのことを考え、行動し、行政と連携してまちづくりを進めることが必要です。

鹿児島駅周辺のまちづくりの取り組み
鹿児島駅周辺はかつて鹿児島市の陸の玄関口として栄えてきましたが、市街地が南へ延びたことに加え、旅客駅の中核的役割が鹿児島中央駅に移ったことなどにより地域の活力が低下しています。
本市では新たな都市拠点の整備に向けて、平成17年1月に住民の有志がまとめた同駅周辺のまちづくりの基本的な考え方の提言書も含め、地域住民の思いも大切にしながら、同駅周辺の道路・広場の整備などの調査検討を行っています。

まちづくりガイドラインの策定に向けて
平成19年度から20年度の2年間、ワークショップでは歴史や文化など地域住民が大切にしたいまちの宝や個性を探し、それを生かすための方策やまちづくりの将来の目標について、メンバーや行政、まちづくりの専門家による話し合いを重ね、今年3月に「まちづくりガイドライン」の素案を作成しました。
将来の目指す姿として、地域にある資源を守り、育て、生かしながら、感動を共有できるまちづくりを目指し、そのキーワードを「楽しむ」「歴史」とし、「活力・賑わい」など4つのまちづくりのテーマを設定しました。

ステップ3 これまでの話し合いをまとめる 地域手作りのまちづくりのルール
7回のワークショップを通じて、メンバーのまちづくりに対する共通の思いをガイドライン素案としてまとめました。
◇コンセプト 後世に残すべき豊富な宝(資源)を守り、育て、活かしながら、感動心を揺り動かすを共有するまちづくり
◇キーワード 「上町」楽しむ「歴史」
◇まちづくりのテーマ
■活力・賑わい イベント開催による賑わいあるまちなど
■街並み景観・自然環境 古き良きものを生かした情緒あるまちなど
■歴史・文化 上町の歴史を身近に感じるまちなど
■回遊・交流 多様な魅力を秘めた回遊性の高いまちなど



これからのまちづくりは、地域住民がまちの魅力を探し、見つけ、自分のまちのこれからの姿を考え、行動することが必要です。本市でもすでに始まっている、住民みんなで取り組むまちづくりを紹介します。
【市街地まちづくり推進課 216-1388】

まちづくりを考えるに当たって ワークショップとは
鹿児島駅周辺のまちづくりを考えるに当たって、地域住民が主体となって立ち上げた「鹿児島駅周辺まちづくりワークショップ」。ワークショップはもともと「作業所」「工房」など共同で何かを作る場所を意味しています。まちづくりの計画を行政が説明会などで一方的に伝えるというスタイルではなく、地域住民や行政、まちづくりの専門家などがそれぞれアイデアを出し合いながら、まちづくりのテーマを考え、まちづくりの方向性などについての合意を形成していくものです。ワークショップは参加し、体験し、互いに学びあいながら、まちづくりを考える場なのです。

ステップ1 探し見つける 地域の魅力を発見
地域のまちづくりは、地域の現状を理解し、魅力を発見することが重要です。ワークショップでは、住民にとって特に大切に、守り、活用したいと思うまちの資源を「地域の宝」と位置づけ、「個性」という観点から整理・分類しました。



ステップ2 互いに考え、話し合う まちづくりのルールを作る
ワークショップでは、長期的な視点で「地域の宝」をどのように活用し、地域の活性化を図っていくかを話し合い、まちづくりの将来の目標を検討しました。



鹿児島駅周辺さるっきんぐ
昨年11月22日にワークショップのメンバーが中心となって行われた「鹿児島駅周辺さるっきんぐ」。当日は約300人が参加し、まちの魅力を新たに発見し、体験・行動することでまちを知るきっかけになったイベントとなりました。